



原発賠償関西訴訟第15回期日の報告集会で。9月22日千葉訴訟判決、29日京都訴訟結審、10月10日生業訴訟判決（福島）、11日いわき避難者訴訟結審、25日東京訴訟結審。各地の訴訟を「応援します！」と原告団、弁護士、サポーターズ。（3ページに記事）



- ◆ 言いたい放題！ アッキー28号（22） 自転車と私
- ◆ 原発賠償関西訴訟第15回期日の傍聴に行きました。
- ◆ 鶴島昭雄さん（枚方在住）に聞く「戦争の体験」（15）
戦中戦後の食糧難時代
- ◆ 思い出話 浪華から大阪へ（8）
- ◆ 今月の五行歌
- ◆ 『私達の身体って素晴らしい！～感覚統合の視点から～』 5
- ◆ イベント紹介 ◆ 編集局より/LIP配布場所/会計報告

「LIP編集局」 <http://www.love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス：lip@love-dugong.net

TEL：070-5653-6913（18時以降）

郵便振替口座 00920-8-120259（LIP編集局）



はじめて私が自転車にふれたのは、小学校四年生の時。いつも遊びに行くK子ちゃんの家で、新しい子ども用自転車を見せてもらった。「うわあ、すごい!」私が目を回すと、一緒にいたO子ちゃんは、「私も乗れる」と言う。自転車でさわるのはじめてと白状すると、K子ちゃんは、「自転車を押して歩いてみたら?」と提案してくれた。

二階建ての家が数軒並んだ住宅街の道路を一回り、自転車を押して歩く。自転車はずっしり重い。角を曲がってK子ちゃんたちの姿が見えなくなると苦しくなってきた。必死の思いでなんとか押して戻って、「ありがとう」とK子ちゃんに言ったが、心の内は大雨。非力な自分が情けなかった。

家に帰ると、「私も自転車が欲しい」と親に頼んだ。では二歳年下の弟にも買ってやろうということになり、ほどなく二台の子ども用自転車が家に届いた。

日曜日父と弟と三人で近くの広場で練習をした。父が後ろから押してくれ、最初は左右の補助輪付きで、恐る恐る自転車を走らせる。少しやると、「右の補助輪を取ろう」と父は言った。「左に重心を置いて乗るんだ」。弟はそれでうまく乗れたけれど、運動神経の鈍い私は挫折した。補助輪を一つつけたまま、自転車は埃をかぶってしまった。

二十歳の時、母の使っていた小さな乗りやすい自転車で練習してよたよたなんとか進めるようになった。けれど、坂の多いところに住んでいたこともあり、練習しただけでそれ以降自転車を使うことはなかった。次に自転車と出会ったのは、結婚して間も

言いたい放題! アッキー28号 (22)

自転車と私

ない三十五歳の時。昔住んでいたところから坂を下りた川沿いの平らな土地に新居があったので、自転車があれば便利だろうと思いついたのだ。注文した自転車は、ちょうどクリスマスのお祝いの食事を隣に住む義父母や義妹と一緒に始めようとした時に届いた。「ごめんなさい」と言っただけで、自転車を受け取り説明を聞いて、「お待たせして、ごめんなさい」と食卓に戻った。

をやめたのは、上の子が二年生になった頃ではなかったか。とにかくその時は必死だった。上の子は外へ出るのが好きだ。夕方自転車で帰宅してから、下の子だけ降ろして、また川沿いの道を一時間も走ったりした。上の子が外に走り出して、自転車で追いかけることもあった。信号が変わったところで見失い、交番に駆けこむと、「お母さん、自転車で追いかけて、どうして見失うの?」と不思議がられた。今ではもう笑い話だが。

次の日、川沿いの人の通らない道まで自転車を押していき、練習した。ちょっと練習すると、すぐ乗れるようになった。やがて子どもが生まれ、車を持たない我が家にとって、自転車はかけがえのない移動手段で「移送手段」ともなった。あとではっきりしたことだが、上の子は自閉症という障害を持っていた。二歳になると、少し離れた丘の上にある保健センター内の親子教室に行くことになり、週一度後ろに息子を乗せて自転車で通った。半年後、加配担任がついて保育所に入所。国道を越えたところにある保育所に自転車毎日通った。金曜日は前籠にお昼寝布団を積んで家に帰る。そして、月曜日の朝にはまた前と後に大きな「荷物」を載せて保育所へ。やがて下の子が生まれると、前籠と後ろの席に2人の子を乗せて移動するようになった。

その頃のことだが、自転車で国道の信号待ちをしていると、中学生をたくさん乗せた大型バスがやはり信号待ちで停まっていたことがある。「おあい、こんにちわ!」近所の子らにやるようにバスに手を振ると、応えて手を振ってくれる子がいた。うれしくなって大きく手を振ると、向こうもどんどん手を振ってくれる。そのうちバスの中の中学生は総立ち。こちら側の窓に詰めかけて、押すな押すなで、熱心に両手を振り回してくる。信号が変わるまでの一瞬の楽しい出会い。そんなこともあったなあ。



上の子が就学すると下の子が入れ替わりで保育所に入った。夕方上の子を留守家庭児童会室に迎えに行き、続きに保育所に行く。二人共小柄な子で自転車の前後にまだ乗せていた。保育所の先生に、「お母さん、危ないよ」と言われ、ようやく「三人乗り」

(著者プロフィール) 自称「アラカン兼業主婦」。上の子が自閉症で、パートの仕事と並行して、親の会的な活動や市民活動等に励んでいます。

*アラカン 六十歳前後。

「人の命」と「健康」と「ふつうの人間らしい暮らし」を求める裁判 原発賠償関西訴訟第 15 回期日の傍聴に行きました。



大阪弁護士会館での報告集会には、メディアの取材も数社入り、椅子が足りなくなるほどの超満員。

8月31日(木)大阪地方裁判所で、原発賠償関西訴訟の第15回期日が行われました。これは2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故で関西に避難してきた人たちが、国と東電に対し、原発事故の真相究明と責任の追及、損害の完全賠償、被災者全員に対する暮らしの支援を求める裁判です。

この日傍聴を求めて集まった人は、149人。希望者多数で抽選に外れ法廷に入れない人のために、地裁の隣にある弁護士会館で法廷とほぼ同時進行で模擬裁判が開かれました。

法廷では、原告から準備書面44「被告・国第14準備書面に対する反論～原子力発電を被告国自らが積極的に推進してきたこと」が提出され、被告・東電からは準備書面11(低線量被ばく健康影響に関する原告ら主張への反論書面)、準備書面12(土壌汚染に関する原告ら主張に対する反論書面)が、被告・国からは第16準備書面(IAEA(国際原子力機関)事務局長報告書を根拠に被告・国が本件地震に伴う津波と同程度の津波を予見できたとする原告の主張に対する反論書面)及び第17準備書面(ICRP(国際放射線防護委員会)勧告における公衆被ばく線量限度やわが国の炉規法関係法令の規定は、避難に当たって基準を示すものではないという反論書面)が提出されました。

準備書面44については、弁護団からパワーポイントによる内容説明がありました。すなわち、被告・国が自らを、事業者を規制する立場に過ぎない、そのため事業者が負うような高度の結果回避義務を負わない、責任の範囲(賠償すべ

き範囲)は事業者である被告・東京電力と比較して相当程度限定される、と主張していることに対して、昭和29年4月の初めての原子力予算成立から、翌年12月の原子力三法の成立、原子力委員会等の原子力推進体制の整備、昭和31年以降現在に至るまで継続的に作成されている原子力開発利用長期計画、さらに原子力の不拡散に関する条約(NPT)に日本国として批准していること等を振り返り、「国は事業者と一体となって原子力発電を推進した」ことを検証し、「被告・国は、被告・東電と同様の範囲について責任を負う」と結論づけました。

閉廷後、模擬裁判の行われた会場で報告集会が開かれました。まず、9月下旬から10月にかけて判決や結審を迎える、京都を始め各地での関連訴訟について、「がんばろう!」と応援のアピール。福島に帰省した原告からは、墓地がイノシシに掘り返され荒らされたこと、帰還をあきらめお墓を移す人も増えていること、「いいたて村の道の駅までい館」のオープンの様子など、リアルな現地の様子の報告。前回期日の報告集会で問題提起された、大阪府所在避難者数は88人から793人と訂正されたことも報告されました。

大阪地裁での原発賠償関西訴訟の次回第16回期日は、11月30日(木)午後2時開廷です。

(とよたかあきえ)

※写真は「原発賠償 kansai サポーターズ」Facebookより

ランチボックスや折詰めのカップを開いた時、先ず蓋の裏側についた飯粒を残らず口に入れるのは、戦中戦後の食糧難を経験した年代(80歳前後)の人達だと言われる。現代では想像も出来ない悲惨な思い出が、心の底にこびり付いているからだと考えられる。戦争がどれほど人々を飢餓のどん底に陥れたか、平和であらゆる食料品が溢れる現代の若い人々や子供たちには到底理解出来ないと思う。

戦争中、農家が生産する米の大半は供出という言葉の下に軍部に取り上げられ、支給された米穀手帳には一人当たりの米が決められていた。農家を含め全家庭に配給されたのは、南方の占領地から没収した拙い外米だった。ところが、戦争末期になると、米の配給が途絶え、大豆、高粱、椰子粉、粟が一人当たり極少量配給される事態になってしまった。

この時、最も貴重な代用食はじゃが芋、さつまいも、カボチャだった。これらが手に入れば一応空腹は満たされた。しかし、町の人達が米を含め、これらの代用食品を求めて郊外の農家に殺到し、なんとか餓死を免れたいと努力しても、途中の駅で警官に没収されることが多かった。心無い農家の中には米の代償として高価な着物や衣服を要求する者がいた。我が子を飢えから護る為、貴重な着物や衣服を手放しても、警官に没収され、絶望の余り自殺した母親もいた。私は農家に居たので、深刻な事態は免れたが、弁当の中身は、大豆や高粱60%、米40%だった。家では麦飯だったが、こんなものを弁当に詰めれば、国賊として処罰されるのは必至だった。

それでも、農家はあらゆる手を尽くして隠し米を持ち、必死に抵抗?していたと思う。実母の家も農家だったので、実家も遣り繰りは出来ていたと思う。その他、食卓から姿を消したのは、砂糖、醤油、油、酒、食肉、ハム、ソーセージ等で、惨憺たる食糧事

情だった。代用食品としては、海水に着色した醤油、食用油としての鯨油、さつまいもの茎や葉っぱ、サツカリン(甘味料)、黒豆を焼いて粉末にしたコーヒー、肥料用の大豆油絞り粕等々、枚挙に暇が無い。

忘れられないのは、風邪を引いた時、養母が作ってくれた白米の卵かけご飯である。今でも、卵かけご飯を食べると涙が出そうになる。軍部にとって、国民の飢餓など全く眼中に無く、「欲しがりません勝つまでは」と手前勝手なことを称えながら日本を破滅の淵に叩き込み、戦場で、内地で、多くの国民の命を無駄に使い捨てたのである。今の政府は日米安

保条約によって、暴挙を繰り返す狂気の北朝鮮と対峙しているが、現況を考えてアメリカ一辺倒の政策を改め、ある程度日本独自の平和願望

を表明する必要があると痛感する。わが国はアメリカの占領下にあるのではなく、独立国であることを忘れてはならない。耳障りかもしれないが、戦争の悲惨さを体験した世代の、日本を愛し、ひたすら平和を望む叫びに耳を貸して欲しい。現在は、日中戦争直前の日本政府と非常に似通った方向に進みつつある。自衛隊の海外派兵は断固取りやめるべき

である。平和憲法に守られて手に入れた幸せと食の豊かさを決して失ってはいけない。

戦争に反対した実父は、戦後ハワイから送られてきたカリフォルニア米、ハーシーのチョコレート、ラッキーストライク、MJBコーヒー、キャメイソープ等の送付継続を丁重に断った。その心中には広島と長崎への原爆投下、全国主要都市の無差別爆撃に対する憤怒が渦巻いていた。これは養父から聞いた話である。私は、アメリカとの友好関係維持に反対はしないが、100%の追随は問題があると思う。

文/画 鶴島昭雄



前回は大阪湾が今の森小路から東大阪辺りまでは海水で、鯨が泳いでいる様な所でそれが琵琶湖やその他の河川の水や土砂でだんだん浅くなり、浪速潟。河内湖と言われる様に成り、上町台地の成長と共に、土砂が堆積し、水は川を作り島が陸地となりだんだん大阪平野を形成して、浪速の町が作られ、それには何万年もの時間が流れたことをお話ししました。

淀川の源は福井県と滋賀県の分水嶺である栃ノ木峠に在ると言われています。其処には淀川の源の石碑が設置されています。此所はそもそも琵琶湖へ流入する河川・高時川の水源地です。其処から川口までは流路延長に換算すると170kmに成ると言われています。琵琶湖へ流入する河川や木津川などを含めた淀川水系全体の支流数は965本で日本一多い川なのです。ちなみに二番は信濃川で880本、三番は利根川で819本となっています。

要するに大阪湾は今よりも大きく入り込んでおり、陸地が殆ど有りませんでした、しかし前は海、背後は大きな陸地で奈良の都の玄関口として非常に有用な土地でした。海外に進出するのにこれほど便利な土地はありません。

其処に目をつけたのが応神天皇の第四子の仁徳天皇で、浪華の高津に都を建て民の竈から煙の立たないのを見て三年間租税を取らず、皇居の補修を中止しました。“竈から煙の立つのを見てたかきやに登りて見れば煙立つ民の竈は賑わいにけり”と歌われて宮殿の修理に掛かれたと言うお話は有名で、常に民のことを第一に考えて政治をされていた天皇として昔から語れて居ます。仁徳天皇は民の為に耕地を増やそうと琵琶湖や京都からの水をせき止めている上町台地を切り開いて、河内湖の水を大阪湾に流し出す“浪華堀江”を作られたと言われています。

その仁徳天皇が茨田地方(北河内一帯)を洪水から守るために“茨田の堤”を作られましたが、切れた所が二カ所どうしても繋がりません。在る夜天皇の枕辺に神が現れ武蔵の“強頸”と河内の“茨田連衫子(まんだのむらじこもこ)”の二人を捕まえ神に捧げたら上手く行くだろうと告げられました。すぐに二人は捉えられ、強頸は泣き悲しみながら放り込まれ溺死しましたが、衫子はどうも神の言う事とは思われない。

“此の瓢箪を二つ投げ込むから、もし神が本当に言ったのなら瓢箪を沈めてくれ沈まなければ偽の神の命令だから承知する訳にはいかない”と言って瓢箪を二つ放り込みました。しかし瓢箪は踊り跳ねながら流れて沈みません。それで衫子は人柱にならずに済み堤も完成しました。後に人々は二つの絶間の跡を“強頸絶間”と“衫子絶間”と言われていました。強頸の碑は以前千林小学校にありましたが同校が廃校になってから時の校長の庭に移築されたと言う事です。

“茨田の堤”とは枚方、守口、寝屋川辺りの各所にあり、この辺りは河川が分流しており、流れが色々あり、各所に堤が拵えられました、拵えられたのが昔の事でもあり、どれも茨田の堤と言われています。

次は「神道集」に書かれており広く全国に知られている有名な「長柄の人柱」のお話をします。“物は言うまい物言うた罰に父は長柄の人柱”と教訓の様に囃されました長柄の人柱のお話です。

昔、都が京に成って間も無くの頃淀川に橋が無く浪華と池田、吹田(播磨国)とを結ぶ橋が無く渡し船が行き来していました。その不便さを解消する為に朝廷から橋奉行に橋を架ける様命令が下りました。やっと途中まで出来たと思うと流され中々完成しませんでした。難儀している所へ巫女がやって来て、「これは龍神様のたたりじゃ、龍神を鎮める為には、人柱を捧げよ」と告げられました。近辺の長柄、豊里、吹田の村長さんが集まって色々相談しましたが、人の命に関わる事ですから簡単には結論が出ませんでした。

そんな時吹田の長者の磐氏(いわじ)という男がやって来て「そんな事簡単や、袴に継ぎの当たっている奴にしたらええ、そんなかっこ悪い事してる奴はろくな奴やあらへん」と言いました。辺りを見ましたがその様な人は関係者の中には誰一人居ませんでした。

しかし一人だけ居ました。それは言いたしべえの、磐氏でした。磐氏はその場で取り押さえられ次の日に川の真ん中に鎮められました。それ以来工事は順調に進み程なく橋は完成しました。

これには後日談があります、人柱にされた磐氏の奥さんは“物言えば父は長柄の人柱泣かずば雉も捕られざらまし”と詠んで川に身を投じました。娘「光照前(てるひのまえ)」は縁あって枚方の長者の家に嫁ぎましたが、「はい」と「いいえ」しか喋りません、業を煮やした舅が怒り出し、実家へ返す事にしました。夫は光照前を馬に乗せて実家へ行く途中の淀川沿いのアシの原で雉が不意にキッキキと泣き、夫は持っていた弓に矢をつがえて雉が飛び上がった所を狙い上手く仕留めました。その光景を見た光照前は涙を流しながら“ものいわじ(磐氏)父は長柄の人柱雉も鳴かずば撃たれざらまし”その歌を聴いて光照前が喋らなかつた理由を知り、今までその苦悩を解ってやれなかつた事を謝り、二人はその後仲睦まじく幸せに暮らしたという事です。

昔から災害に対しては命をかけた工事のお話があります。それほど治水と言う事は我々にとって大切な事です。確かに今まで無かつた様な気象状況が続いていますが、洪水などの災害のテレビを見ていますと、濁流の中に流木の多いことが目立ちます、それが被害を大きくして居ると思います。山は間伐をして風通が良くすれば、木も育ち、土砂の流出も防げます。それは非常に地道な仕事で、目先誰の利益にも成らないでしょう、しかしこれを怠れば山は死んでしまいます。それに加えて各河川の浚渫をして水が大量に流れる事を考えるのが大切だと思います。それを怠っている今の災害は人災と言う言葉が冠せられても良いと思います。如何でしょうか？

今回も「大阪史蹟辞典」、インターネット(ウィキペディア)等を使わせて頂きました。 小田川徳男

LIPが選ぶ

今月の五行歌

長電話するな！と

翠

電話の線を

切った父が

孫娘とは

長電話する

お母さん

ふわり

ボクが呼んでるよ

スマホもいけど

話しを聞いてよ

顔見て笑ってよ

その昔 核も持たず

ゆきまゆ

戦争もせず

平和で穏和な人々の

小さな島国がありました

何て事になりませぬよう

【五行歌ひらかた歌会】

☆毎月一度月曜日午前10時半～12時半、メセナひらかた諸活動室で集まっています。八月はお休みです。

問合せ akkie.toyotaka@gmail.com
または、090-5893-5635 (とよたか) まで

『私達の身体って素晴らしい！～感覚統合の視点から～』（5）

厳しい暑さも和らぎホッと一息ついておられる事でしょう。さて今回は聴覚についてです。

以前お話しした前庭感覚受容器が内耳の中にあるとお話した事を覚えておられると思います。したがって、聴覚と前庭感覚情報は結びつきが強く、お互いに協働して働くことが多いと考えられます。

周囲で聞き慣れない音がすると、私達はその方向に振り向きます。これは音のした方向に注意を向ける自動的な反応で、このような反応をするためには、聴覚からの情報と頭や身体を動かす運動が統合されなければなりません。当然、目もその音のした方を見るでしょうから、視覚情報との統合も必要です。

音を機械的に受け取っているのではなく、必要な情報を聞き取って解釈しています。

たとえば、うるさい街中を歩きながら友人と会話する際、私達は様々な雑音の中から相手の声だけを拾い出して聞いていますし、聞き取りにくい聴覚情報でも、状況や文脈から内容を推察して聞き取ることもしています。このように、周囲からの音を必要な聴覚情報として志向し選択する高度なシステムが脳(中枢神経系)には備えられているのです。

聴覚情報も、他の感覚情報と同様、無意識に処理されて、私達の感情や気分、覚醒に影響を与えています。

リズムやピッチ、音質、音量などにより、リラックスしたり興奮したりします。暴走族がわざとマフラーをはずして大音量で走り回るのも「興奮したい」という目的のためには理にかなっているのです。迷惑なことです(TT)

トライアングルなどの周波数の高い楽器が苦手な子どもや運動会のピストルや雷の音に強い恐れをもつ子どももいます。きっとこのような過敏をもつ子どもの不快さや疲労感、想像以上だということを理解してあげてください。

一般に、過敏の子どもの行動がこのような過敏さからきていると理解できない大人は、子どもの行動を「わがまま」とか「躾の悪さ」、「性格の悪さ」としてとらえがちで、その結果叱責したり、無理にがんばらせようとする対応になりがちです。不快な刺激に遭遇した時の対処法は、子どもによって異なるでしょうが、その対処法がわかると、子どもは安心して活動に参加できるようになるでしょう。

感覚がちょっとだけ過敏なだけで、辛い思いをしている子どもがいる事を知ってあげてください。過敏のひとつに触覚もあります。触覚については、次回お話ししましょう。

音楽療法士 木村久美子

イベント・サークル・ボランティア情報

「9条改憲阻止3000万署名」実現に向けたスタート集会
『西谷文和さんを迎えて』

■日時：10月7日(土)

17:30(開場) 18:00(開始) ~ 20:30(終了)

■会場：枚方市民会館 1階 第1・2集会室

(京阪枚方市駅9出口より歩道橋直進枚方市役所方面へ約5分)

■主催：戦争法廃止 憲法変えるな！ 沖縄新基地建設中止 枚方・交野実行委員会

枚方市大垣内町2丁目8-27 シンエービル別館 市民の広場 “ひこばえ”

TEL&FAX 072-846-8780 代表 松田久子 電話 (090-9705-5921)

<https://www.facebook.com/hirakatakatano.sensouhouhaishi/>

■参加協力費：500円

9月8日、安倍政権による憲法9条改憲に反対する市民らが、新団体「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション実行委員会」を結成しました。東京都内で記者会見し、「来年5月までに3千万筆の請願署名を目指す。改憲への動きを終わらせたい。」と、新たな改憲反対署名が呼びかけられています。私たちも全力でこの署名を集めていきたいと考えています。

来年度の防衛予算の概算要求は、5兆2551億円と過去最大で、今年度よりも1300億円増になっています。その一方で森友・加計問題や南スーダンの日報問題の真相究明を全く行おうとしない安倍政権は退陣させるしかありません。

今回、イラクやアフガニスタン、シリアなど戦争、紛争の現地を取材し、マスコミの伝えない真実を伝え、支援の活動を精力的に行っておられる西谷さんをお迎えし、武力による「解決」がいかに愚かで悲惨な状況をもたらすのか、お話をお伺いする中で私たちにできることを一緒に考えていけたらと思います。

※「知的障害者」を普通高校へ10月北河内定例会ご案内※

9月の定例会は、台風18号が関西に接近していたため、中止しました。ご迷惑をおかけしました。つきましては、以下のように、10月の定例会を行いますので、ご案内致します。どうぞよろしくお願いいたします。

○日時：10月22日(日曜) 午後1:30~4:30 定例会
4:30~5:00 事務局会議

○場所：寝屋川市民会館 4階 第11会議室

京阪寝屋川市駅下車、東へ徒歩10分

駐車場有り TEL 072-823-1221

○内容

1、2学期、運動会や学校生活での、子どもたちの様子、課題など

2、高校受験や進路に関わって、こんなことあるけど・・・
どうしたらいいかな? 情報交換など

3、「医療的ケア」の要る子どもたちの今は~

4、高卒後の子ども達、おとなになって~

5、7月の総会、学習会の反省と秋の取り組み

○参加費 1家族：100円

○連絡先 新(あらた) 080-1463-1120

松森 090-1960-3469

お誘いあわせの上、奮ってご参加をして頂きますよう、お待ちしております。

音楽でリフレッシュ!

快い音でゆったりとした楽しい時間を仲間と一緒に思いっきり声を出して心身共にリフレッシュしませんか?

◇日時：10月1日(日) 14:00~15:30

場所：サンプラザ生涯学習市民センター 5階視聴覚室

◇日時：10月21日(土) 13:00~14:30

場所：南部生涯学習市民センター 2階音楽室

※参加費：500円(初回無料)

申し込み・問合せ先 音楽でリフレッシュ! 担当：中嶋

TEL: 072-840-5493



「枚方自閉症児(者)親の会」10月例会

※日時 10月12日(木)10時~12時

※場所 ラポール4階共用ルーム

※連絡先 春名 072-397-0053 鬼塚 072-841-3515

LIPは、次の場所に置かせていただいています。

- ★ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかたNPOセンター
- ★ 枚方市ボランティアセンター [ラポールひらかた内 072-841-0181]
- ★ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた [枚方市沼津堤南町 2-50-1 072-850-4400]
- ★ コミュニティカフェ ラ テール [枚方市西禁野 1-3-27 禁野口バス停前 072-848-0418]
- ★ NPO法人 りりあん [枚方市長尾元町 6-39-15 rrian@kcat.zaq.ne.jp]
- ★ 婦人洋品店 シヤルム [枚方市南楠葉 1丁目 2-16 ぐずは公民館向かい 072-850-1362]
- ★ 喫茶 Dik Dik [枚方市岡本町 8-17 072-846-5377]
- ★ 街かどビエハウス 藤阪愛逢 [枚方市藤阪元町 2-27-1 072-855-6978]
- ★ 泉屋 楠葉店 [枚方市楠葉並木 2-2-2 072-868-3060]
- ★ WAVE34(ボウリング場) [枚方市田口 4-11-8 072-848-0450]
- ★ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび [枚方市南楠葉 1-30-1 エクセレントビル 203 号室 072-856-9177]
- ★ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ [枚方市堤町 2-1-103 072-861-6360]
- ★ 京阪総合会計事務所 [枚方市西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301 072-805-5252]
- ★ ヘアースタジオばべば [枚方市南楠葉 2丁目 4-3 072-850-9070]
- ★ 枚方市役所(市民活動課・環境総務課・人権政策室) [枚方市大垣内町 2丁目 1-20 072-841-1221]
- ★ 枚方市役所 津田支所 [枚方市津田北町 2-25-1 072-858-1502]
- ★ (財)枚方市文化国際振興 [枚方市岡東町 8-33 市民会館内 072-843-1122]
- ★ 枚方市総合福祉センター [枚方市津田東町 2-26-1 072-858-5835]
- ★ (社)福やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ばびるす [枚方市大字尊延寺 2200 072-859-0245]
- ★ NPO法人パーソナルサポートひらかた [枚方市中宮山戸町 10-12-105 072-848-8825]
- ★ 自閉症療育センター Link [枚方市岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階 072-841-2411]
- ★ 紅茶専門店VIE [枚方市南楠葉 1-1-34 072-856-2355]
- ★ shot bar カボチャノース [枚方市枚野下島町 14-22 072-809-7676]
- ★ ポパイ商店 [枚方市山之上 2丁目 16-9 072-846-7232]
- ★ えほんのお部屋ひまわり畑 [枚方市香里ヶ丘 12丁目 6-28 090-6739-7064]
- ★ クッキー工房おれんじはうす [枚方市交北 3丁目 3-10 072-856-8378]
- ★ 陶器食器のお店 a new sprout [枚方市堤町 2-14 072-846-9550]
- ★ 雑貨/カフェ ルポ・デ・ミディ [枚方市堤町 10-12 072-843-1525]
- ★ 渦潮ベーカリー楠葉店 [枚方市南楠葉 1-30-6 072-856-5420]
- ★ 輝きプラザ「きらら」 [枚方市車塚 1-1-1]
- ★ 教育文化センター [枚方市磯島北町 37-1 050-7102-3150]
- ★ 三代目たぐちゃん ピーコ [枚方市枚野阪 2丁目 7-30 080-3785-1728]
- ★ MIKHOUSE キャラメル [枚方市枚野阪 2-9-15-105 072-857-6626]
- ★ 株式会社 丸天酒店 [枚方市枚野阪 2-5-23 0120-39-7003]
- ★ MogaJogaDining 枚方宿 [枚方市堤町 2-15 072-846-3535]
- ★ カフェレストラン 風鈴火山 [枚方市枚野阪 2-5-19 072-856-3799]
- ★ とふろホーム [枚方市大字尊延寺 4592-24 072-858-4058]
- ★ 音楽療法スペース ウッドヴィレッジ [枚方市枚野下島町 9-12 070-857-3540]
- ★ みんなでつくる広場「ちよこ」 [枚方市楠葉野田 2-30-8 072-856-9439]
- ★ スパイルイ枚方南 [枚方市津田山手 1丁目 24-1 072-808-4126]
- ★ やすらぎの丘菟苑 [枚方市大字尊延寺 4588 番 4 072-896-1212]
- ★ 苺のいえ [枚方市甲斐田町 5番 25号ウエストヒルズ102号 072-805-2660]
- ★ ちよこまぐろ みんなの里 [枚方市楠葉並木 2-28-4 072-845-6814]
- ★ 韓国茶が楽しめるカフェ「Cafe Cajjo」 [西禁野 2-8-3 072-848-8481]
- ★ ぐずはアートギャラリー [枚方市楠葉花園町 15-1-Z302 本館ハナモール 3階]
- ★ カフェ ル ポン [枚方市高田 2丁目 20-17 072-396-8785]
- ★ 「市民の広場」ひこばえ [枚方市大垣内町 2-8-27 シンエービル別館 A 室 072-846-8780]
- ★ 街かどビエハウス秋桜 [枚方市宗谷 1-1-1 072-859-3991]
- ★ 明日花障害者作業所 [枚方市西禁野 1丁目 3-18 072-848-2324]
- ★ 陽だまりの会 [枚方市交北 2丁目 7-15 072-809-0015]
- ★ Lin Brun. [枚方市枚野下島町 18-7 072-865-3514]
- ★ カミュ [枚方市枚野下島町 13-11 072-865-7310]
- ★ Grand Table [枚方市山之上 1丁目 12-10 072-846-3808]
- ★ 尊延寺公民館 [枚方市尊延寺 3丁目 3-16 072-859-0168]

New!

- ★ フレッシュベーカリー ラッキー [寝屋川市早子町 18-1 072-821-0413]
- ★ ヘアサロンおおまち [交野市私部 3-17-2 072-891-5024(予約優先)]
- ★ 小規模通所授産所施設 ミルキーウェイ [交野市天野ヶ原町 2丁目 14-20]
- ★ 交野市役所内ついでいネット [交野市私部 1丁目 1-1]
- ★ ギャラリー天野が原 [交野市天野が原町 5丁目 20-5]
- ★ Cut wa Coconi [交野市梅が枝 55-13 072-893-0020]
- ★ むく福祉会 ワークホーム れっつ [綴喜郡宇治田原町 寶田船戸 38-1 0774-88-5846]
- ★ ベビーフェイスプラネット松井山手 [八幡市欽明台北 1 ソフィアモール内 075-982-3271]
- ★ 「月桃の花」歌舞団 十三スタジオ [大阪市淀川区木川西 3-4-20 2F 06-6885-8475]
- ★ ふらっとねやがけ [寝屋川市東大町 2-14(市立産業振興センター 5 階) 072-800-5789]
- ★ ふれあいプラザ香里 [寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園 4階 072-835-3335]
- ★ 大阪府衛生会附属診療所 [高槻市奈佐原 955 072-696-3351]
- ★ 宇治田原社会福祉事務所 [綴喜郡宇治田原町 荒木天皇 2 0774-88-2394]
- ★ 西宮男女共同参画センター ウェーブ [西宮市高松町 4-8 0798-64-9495]
- ★ 大東市立生涯学習センター アクロス [大東市末広町 1-301 072-869-6505]
- ★ フェルデンハウス北斗星 [寝屋川市萱島東 1丁目 16-15 070-5435-1965]
- ★ 青年の家 [交野市私部 2丁目 29-1 072-892-7721]
- ★ 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター) [大阪府中央区大手前 1丁目 3-49 06-6910-8500]

イラスト 表紙、P7: 平井由恵

応援お願いいたします!

LIP 応援団

LIP は寄付金で運営しています。

LIP 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
43,514	前号から繰り越し
1,140	本代金
▼560	郵送代
▼500	9月ロッカー代
▼4,170	9月号印刷代
39,424	計(次号へ繰り越し)

LIP 連載をまとめた本が完成しました!

「少年期は 戦争中だった」

枚方市在住 鶴島昭雄さんの戦争体験

◆A5判56ページ 手製本 頒価500円(郵送希望の方は+180円)

◆一冊ずついてぬいに手作りしています。問合せ:LIP編集局

◆電子書籍も頒布開始。アマゾンで「鶴島昭雄」で検索してください。

■LIPは市民が伝えたいことを書き、市民が印刷し、市民が配布する地域密着型情報紙です。
あなたも紙面に登場してみませんか?



「枚方市民にだけ」
読んでほしい情報サイト

枚方つーしん

検索